

平成28年度

第2回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会

平成29年1月25日

中国・四国ブロックにおけるエイズ対策の現状

福山医療センターにおける HIV/AIDS診療の取り組み

福山医療センター 坂田 達朗

平成29年秋 外来管理診療棟 完成予想図

本日の内容

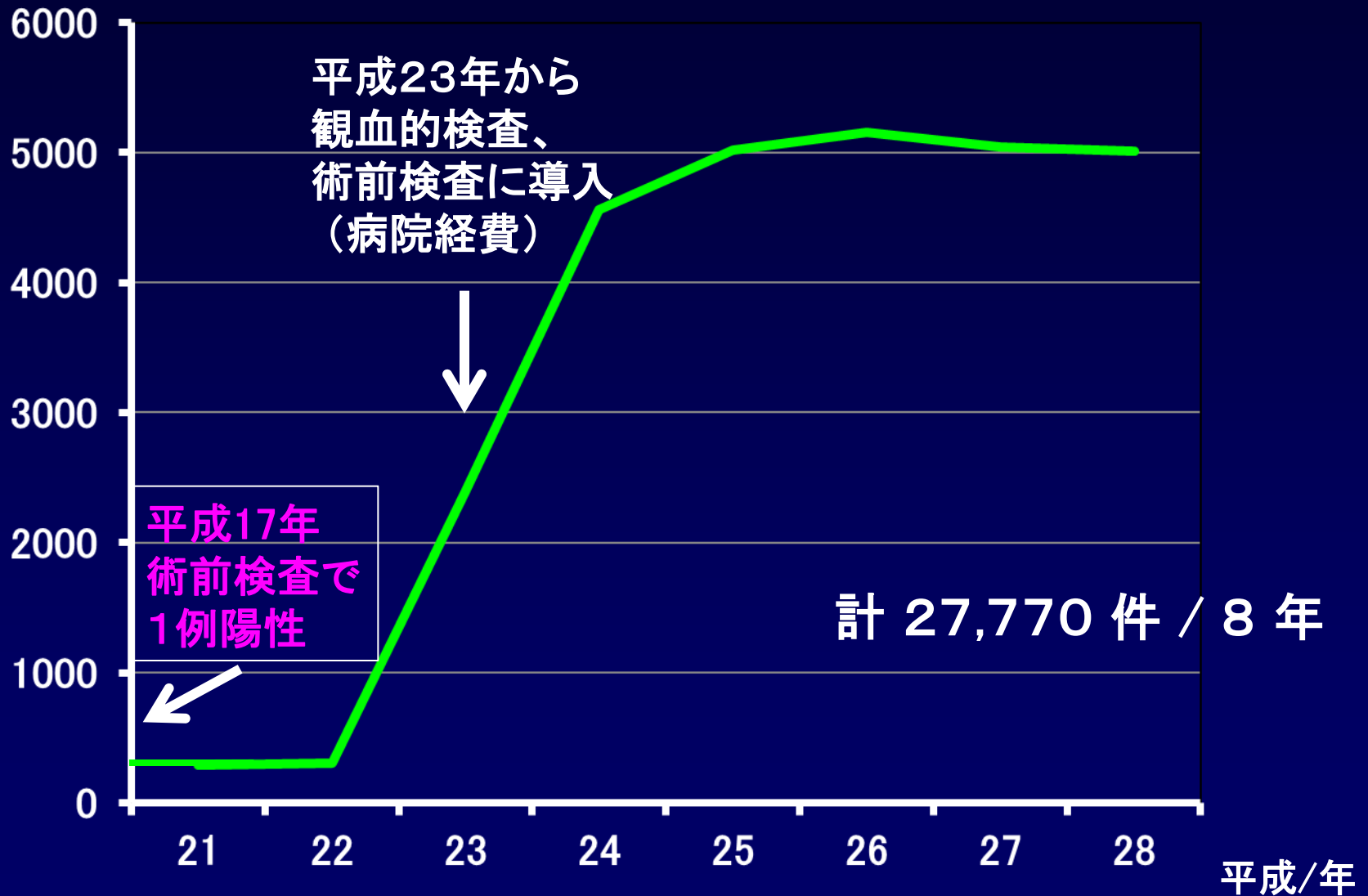
1. 当院の診療状況
2. 歯科受診の奨励
3. 性感染症(STI)重複感染防止
4. 保険薬局との薬・薬連携
5. 他施設への出前講座
6. 市民への啓発
7. 地域行政との連携

本日の内容

1. 当院の診療状況
2. 歯科受診の奨励
3. 性感染症(STI)重複感染防止
4. 保険薬局との薬・薬連携
5. 他施設への出前講座
6. 市民への啓発
7. 地域行政との連携

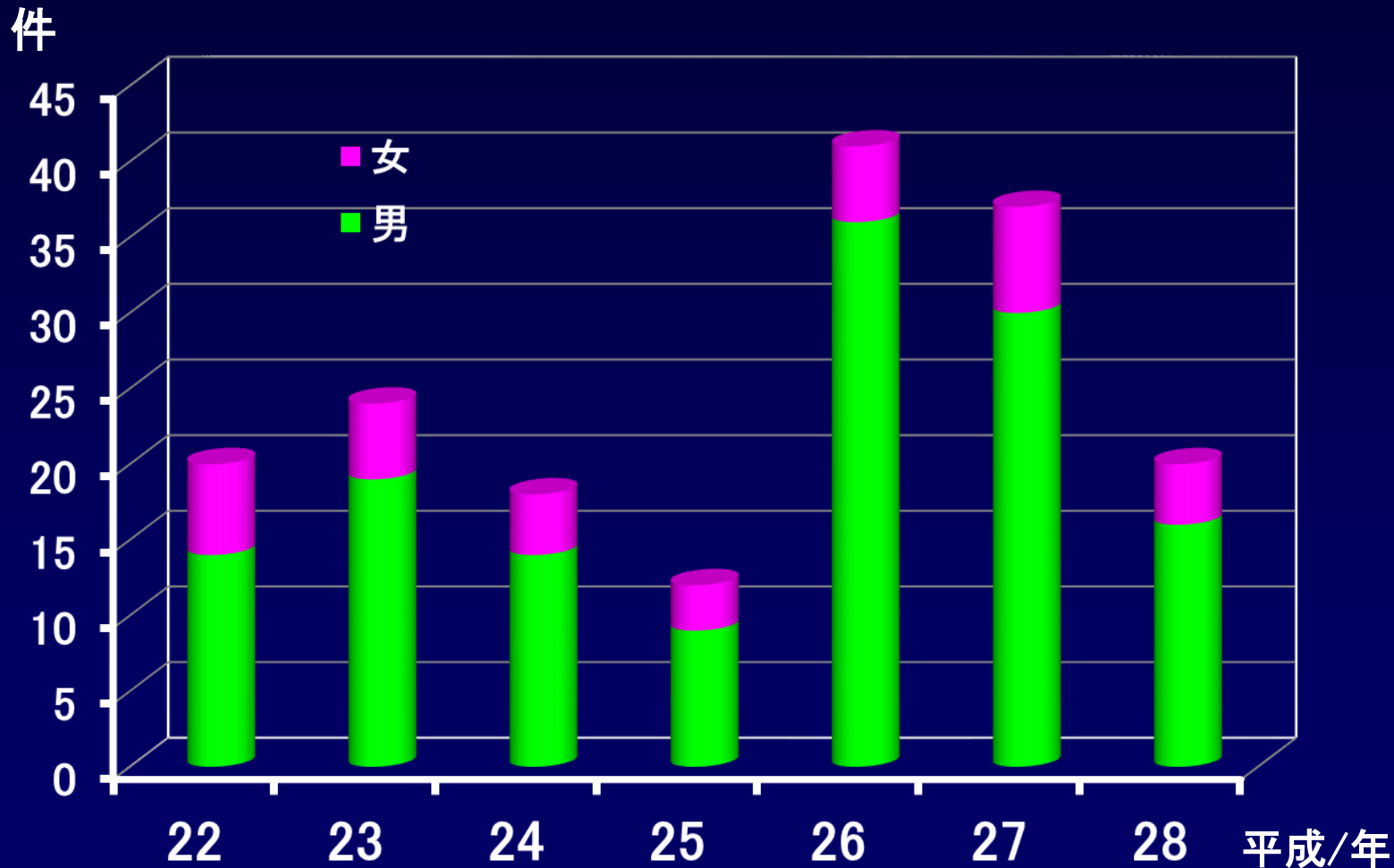
HIV検査実施件数の年次推移

件数



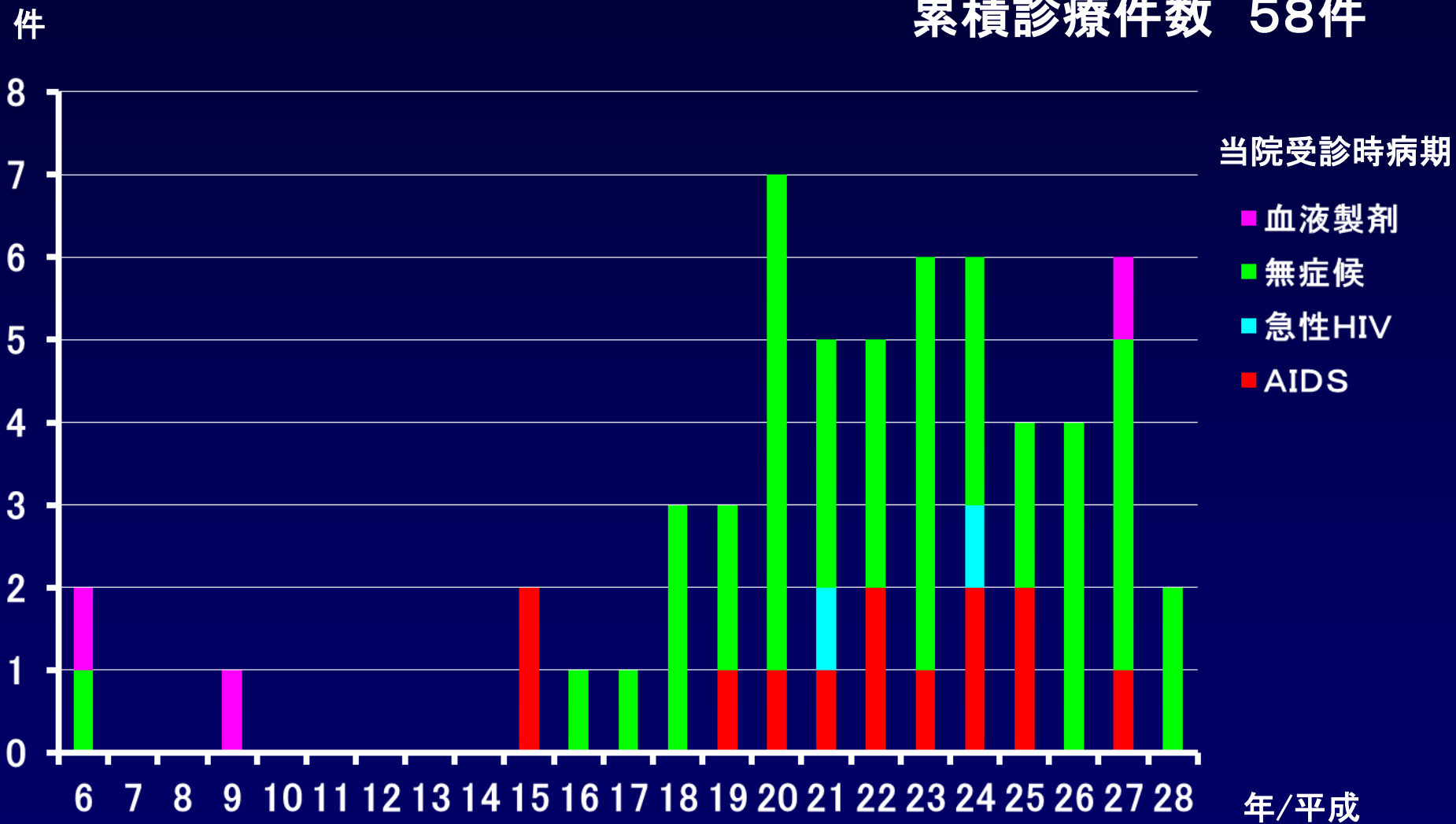
HIV検査受診件数の年次推移

最近7年間で計172名 男性が女性の4倍



HIV/AIDS 年度別受診件数

累積診療件数 58件



HIV/AIDS 診療内容

無症候期(含 血液製剤3例) 37 例

AIDS

初診 13例

ニューモシスチス肺炎	6 例
ヘルペスウイルス感染症	2 例
口腔・食道カンジダ症	2 例
カポジ肉腫	1 例
粟粒結核	1 例
HIV消耗性症候群	1 例

治療開始後紹介 6例

ニューモシスチス肺炎	3 例
中枢神経悪性リンパ腫	1 例
HIV脳症	1 例
CMV抗原血症	1 例

急性HIV

無菌性髄膜炎	2 例
--------	-----

計 58 例

HIV/AIDS 受診経路

N=58

市内から紹介 23件
自院で診断 10件

市外から紹介 10件

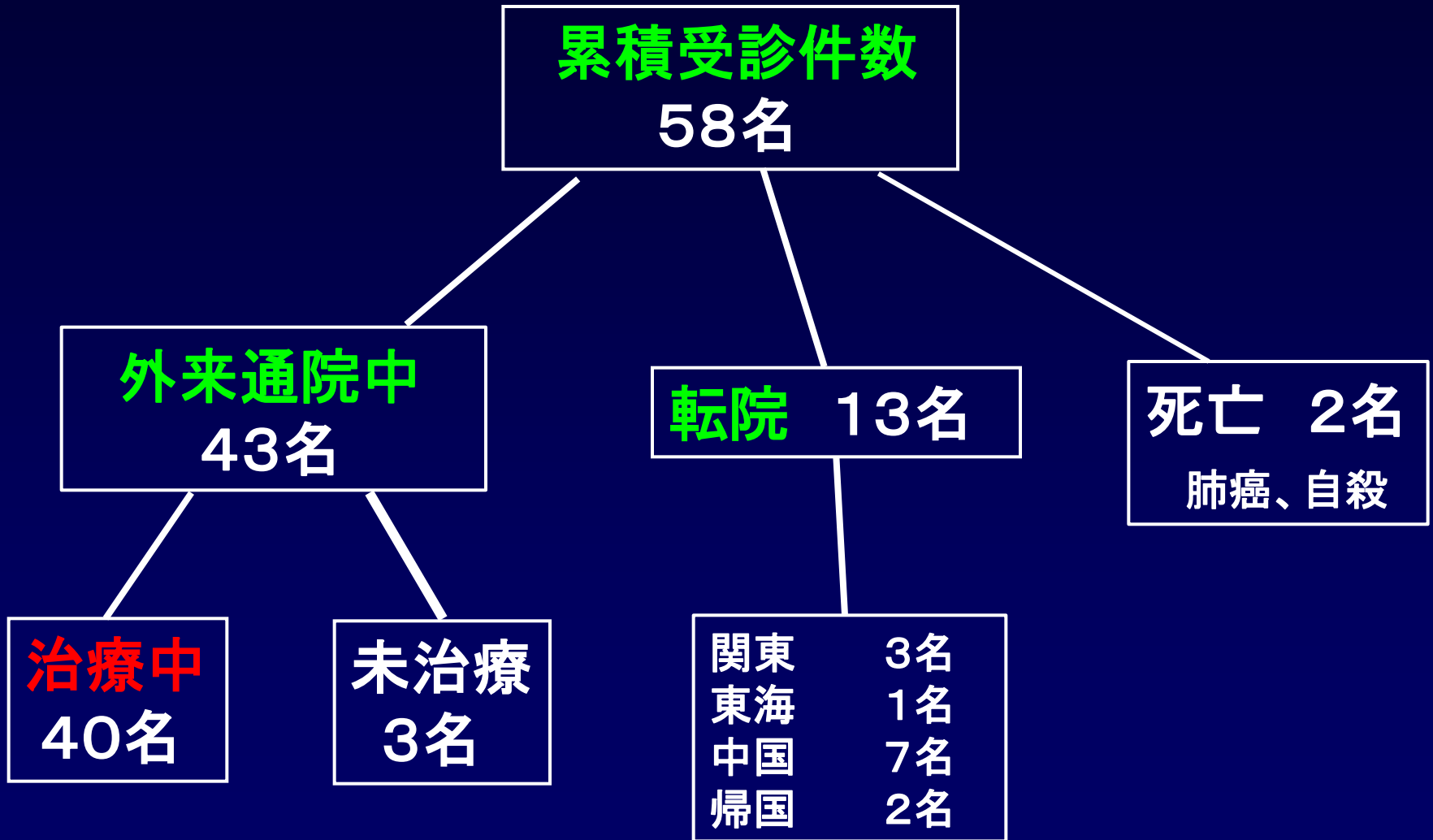
県外から紹介 14件

自院で診断 10件
市保健所 11件
病院・診療所 13件

日赤血液センター 2件
病院・診療所 8件

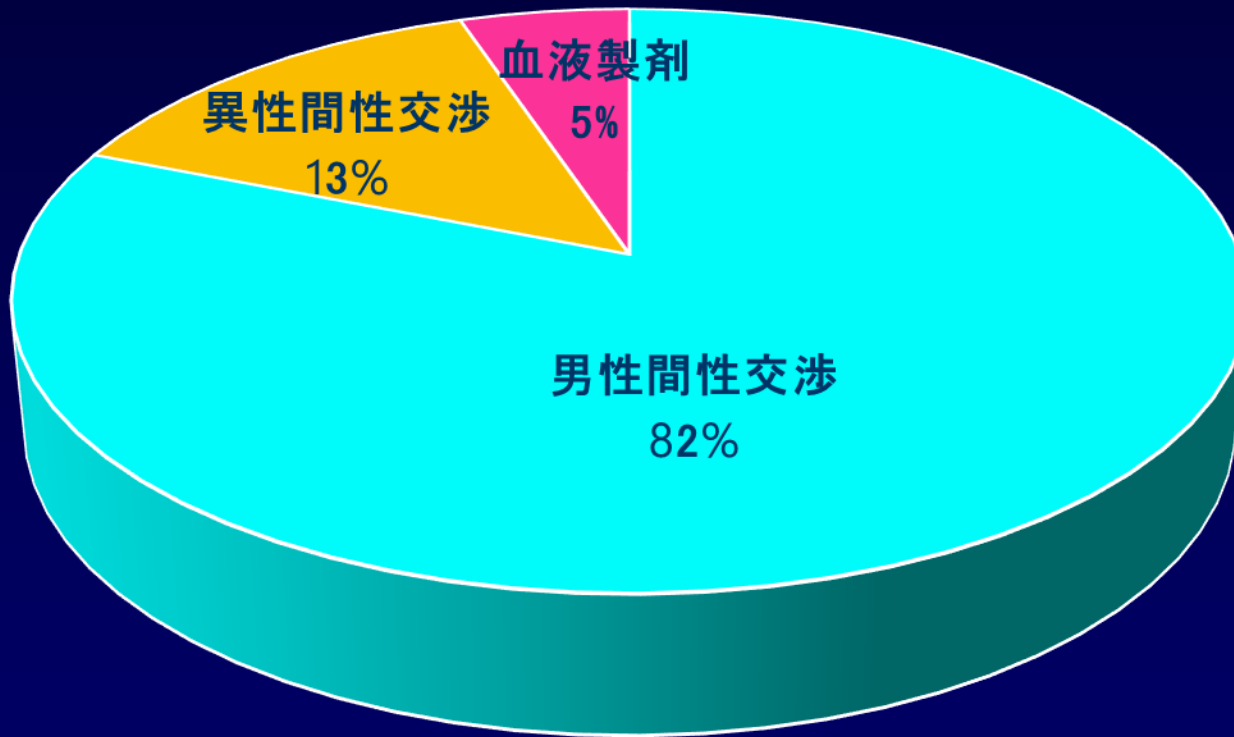
北海道 1件
関東 5件
(内自院で診断 1件)
関西 2件
中国 4件
九州 2件

HIV/AIDS 診療経過



HIV/AIDS 感染經路

列2

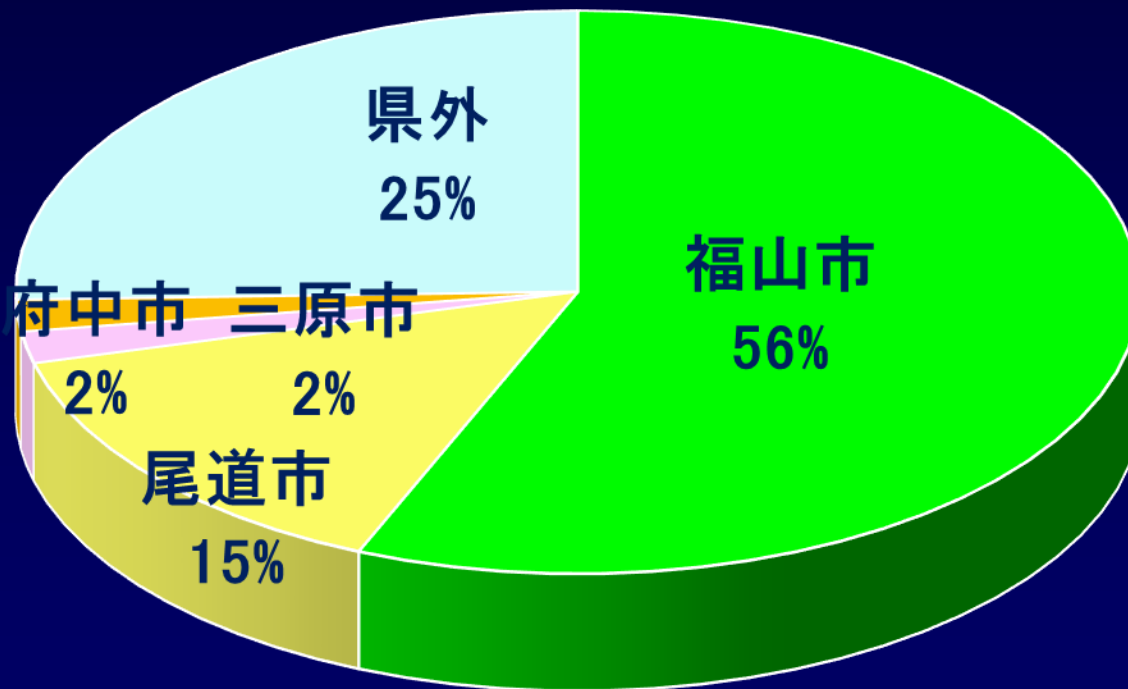


- 男性間性交渉
- 異性間性交渉
- 血液製劑

N=58

HIV/AIDS判明時の患者居住地

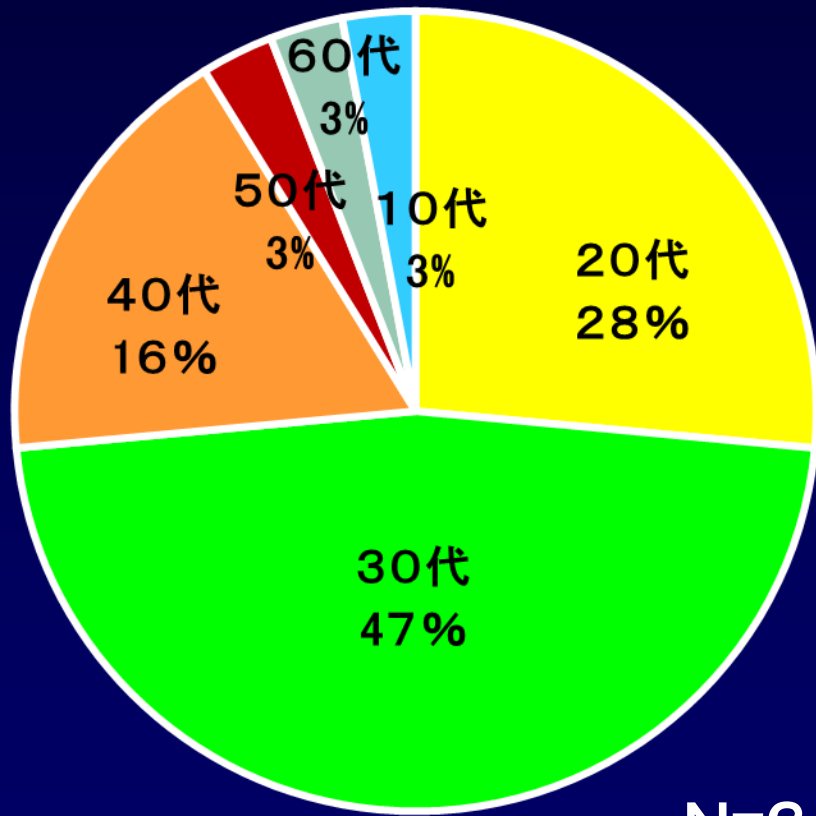
(血液製剤感染 3例 を除く)



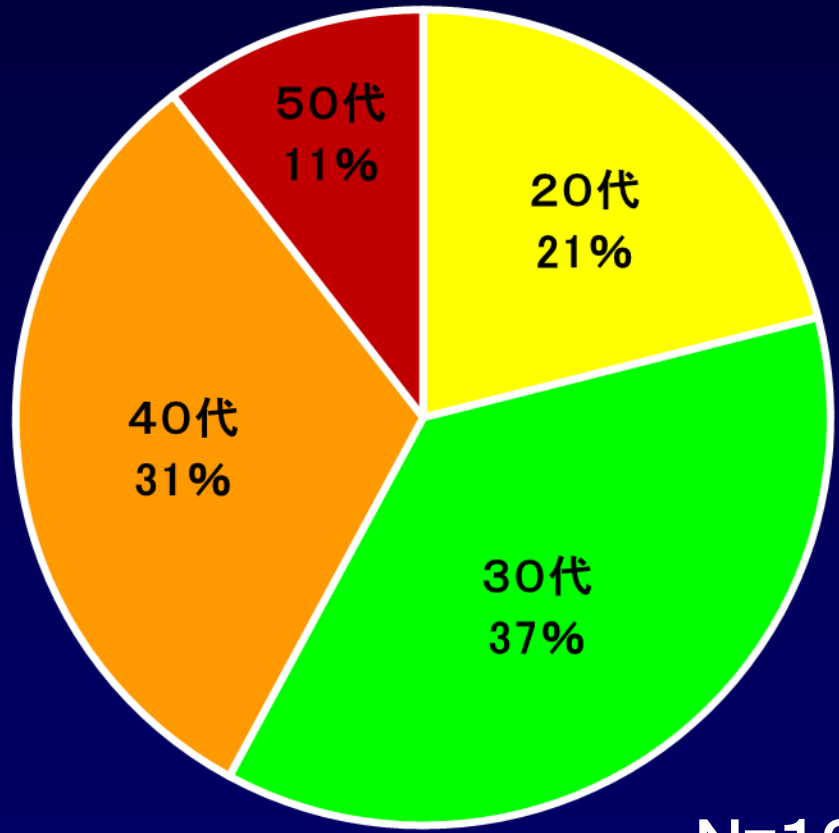
N=55

HIV/AIDS 初診時年齢分布

(急性HIV 2例、血液製剤感染 3例を除く)



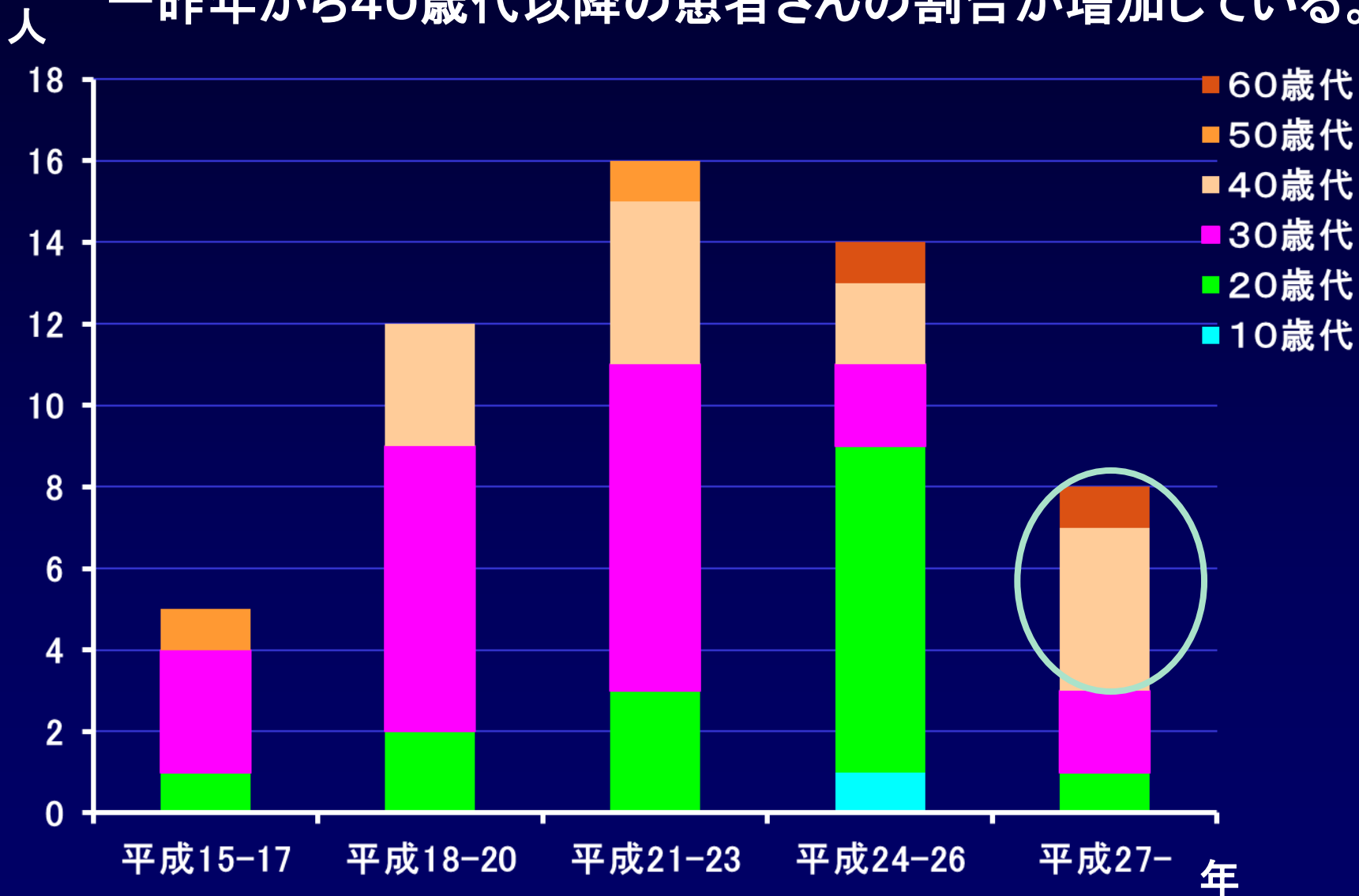
無症候期



AIDS期

HIV/AIDS初診時の年齢推移

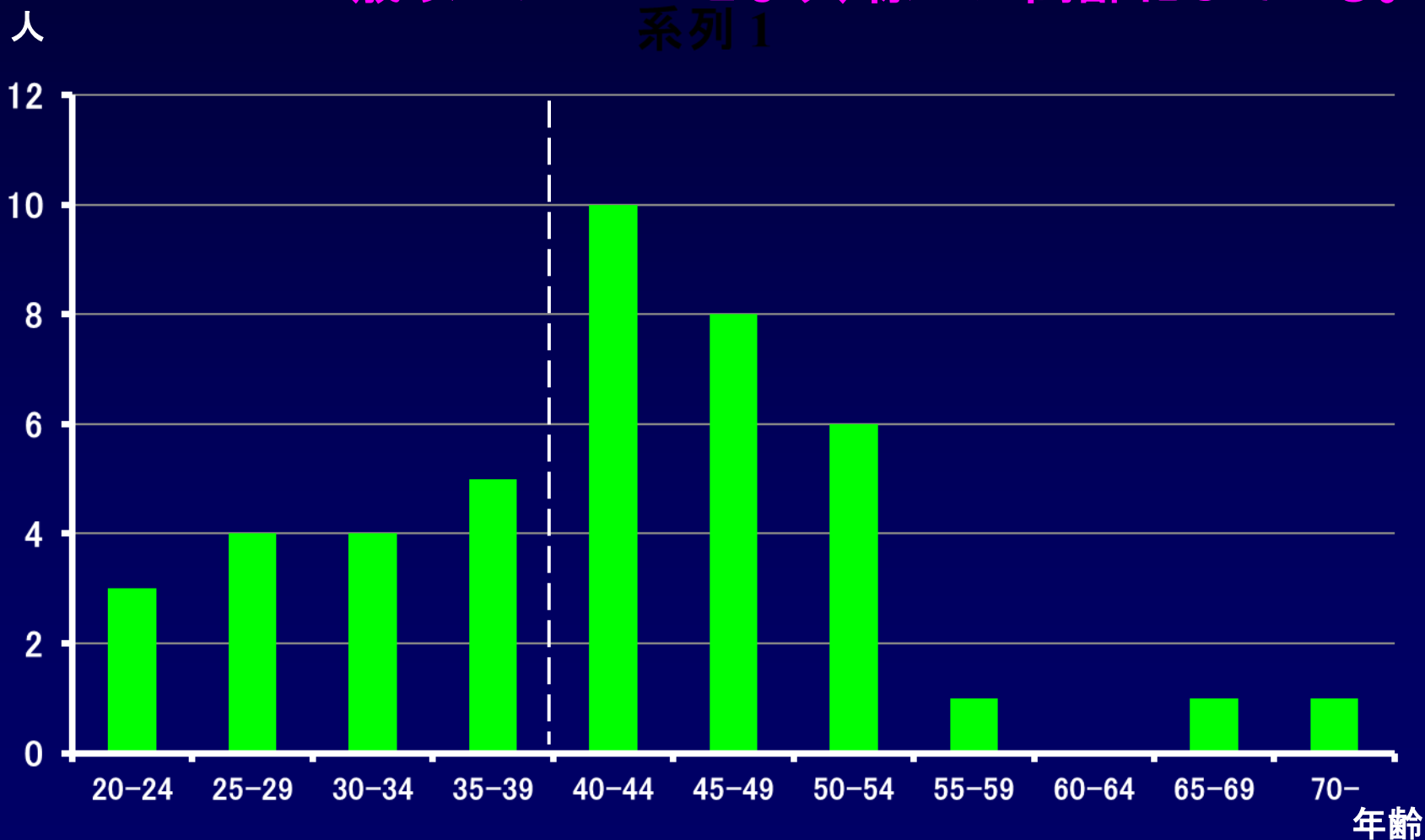
—昨年から40歳代以降の患者さんの割合が増加している。



現在通院中の症例 年齢分布

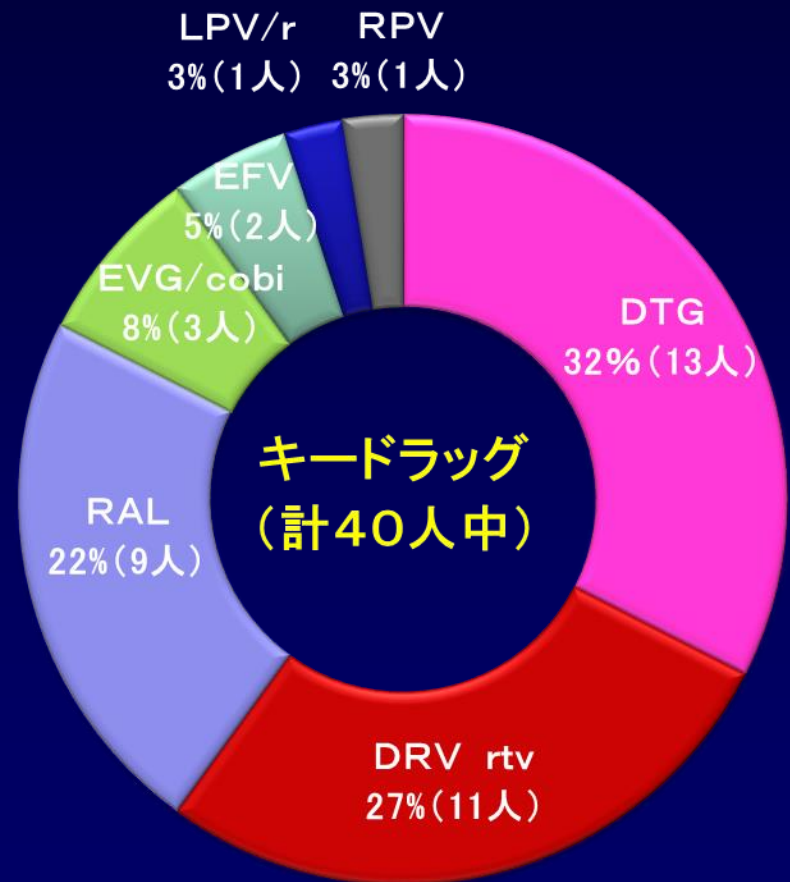
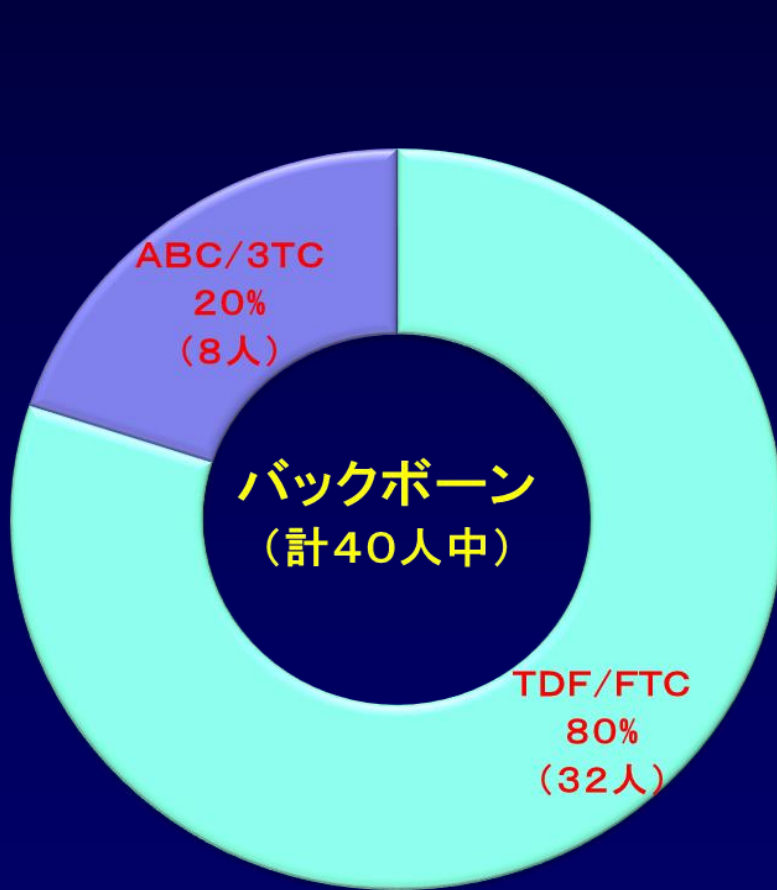
初診から14年が経過する患者さんもおられ、
40歳以上が63%となり、徐々に高齢化している。

系列1



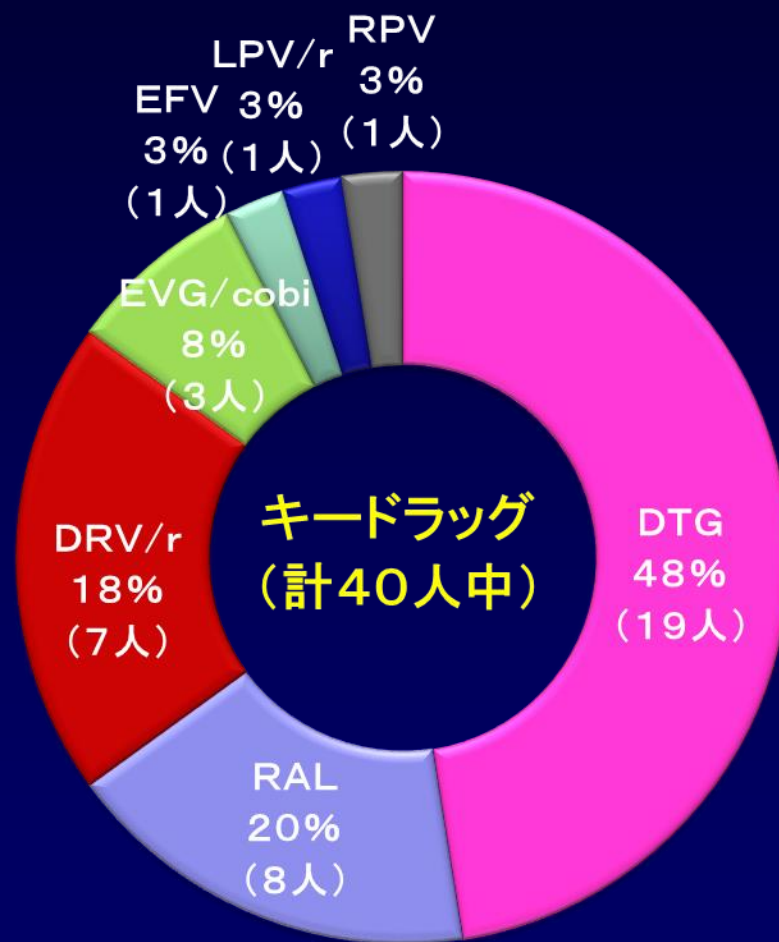
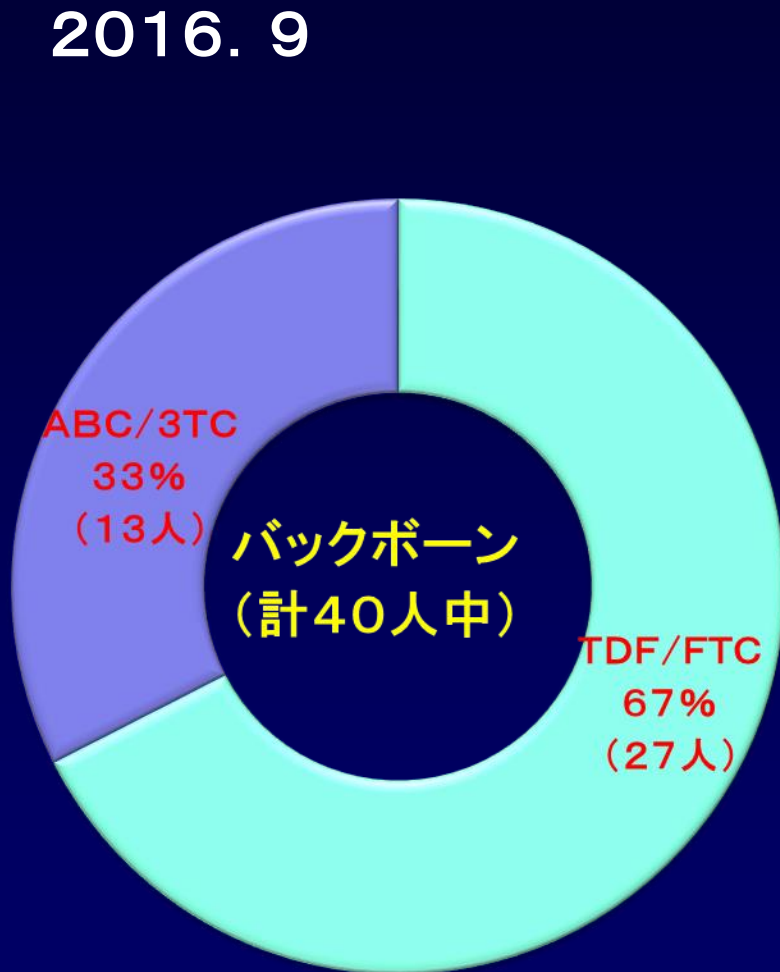
ARTレジメン 2015

2015. 9



ARTレジメン 2016

2016. 9



これまでに使用した抗HIV剤(累計)

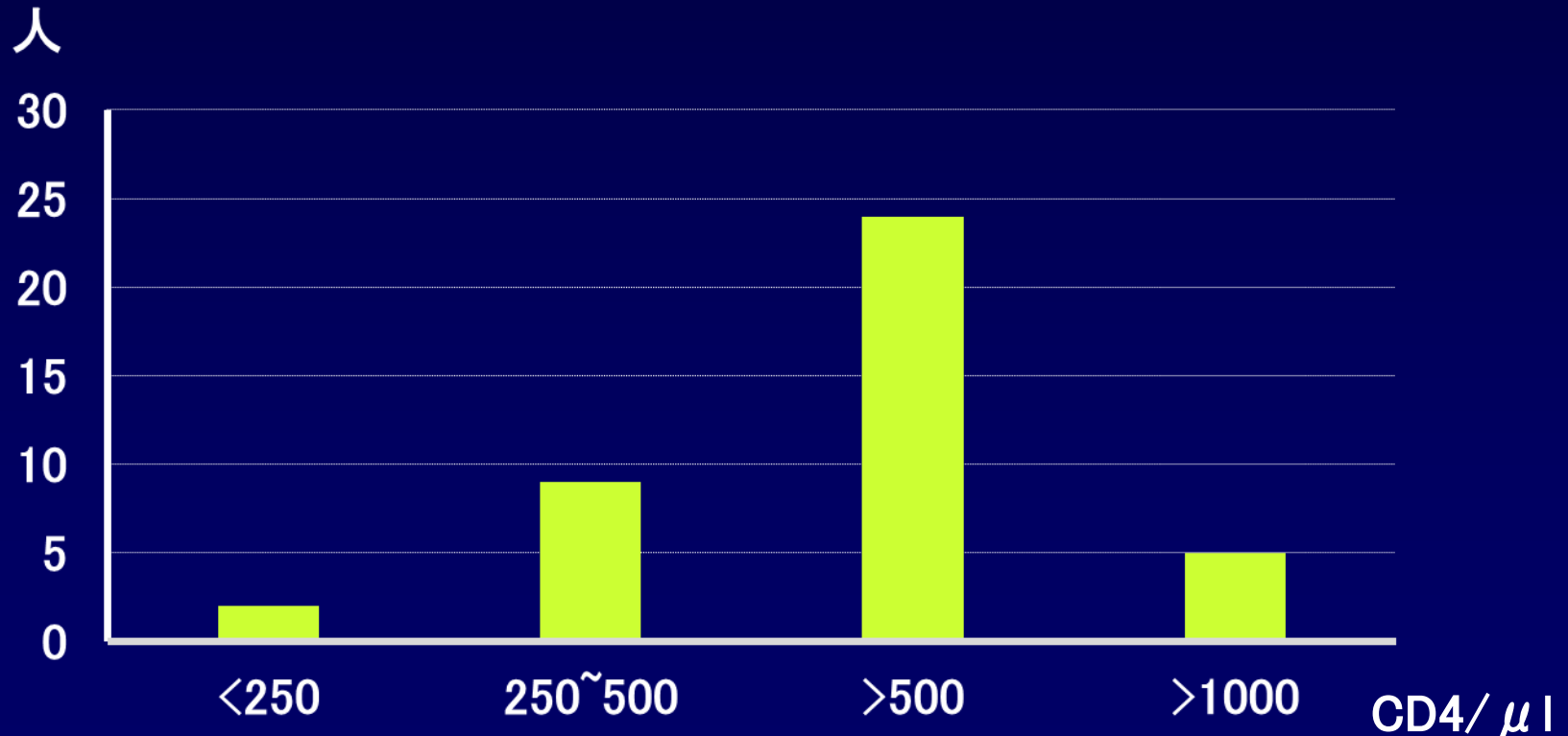
Key drug		Back bone	
	使用件数		使用件数
テビケイ (DTG)	18	ツルバダ (TDF/FTC)	39
プリジスタ (DRV/ r)	15	エプジコム (ABC/3TC)	10
アイセントレス (RAL)	15	エピビル (3TC)	4
カレトラ (LPV / r)	15	レトロビル (AZT)	4
ストックリン (EFV)	4		
エジュラント (RPV)	1		
		トリーメク (DTG/ABC/3TC)	10
		スタリビルド (EVG/COBI/FTC/TDF)	3
		ゲンボイヤ (EVG/COBI/FTC/TAF)	2

ART治療中患者のHIV-RNAとCD4

HIV-RNA: ケンシュツセズ : 32 例
20 copies/ml未満 : 7 例
21~70 copies/ml : 1 例

N=40

CD4:



HAND該当件数

国立国際医療研究センター(ACC)

「日本におけるHIV関連神経認知障害に関する疫学研究(J-HAND研究)」に参加

当院でのHAND該当例

28例中7例

25%

(ACC:729例中190例 26%)

平均年齢 :41.4歳(29~53歳)

AIDS発症既往 :5例

平均HIV罹患年数 :7.5年(2~14年)

HAD 1例、 MND 0例、 ANI 6例

本日の内容

1. 当院の診療状況
2. 歯科受診の奨励
3. 性感染症(STI)重複感染防止
4. 保険薬局との薬・薬連携
5. 他施設への出前講座
6. 市民への啓発
7. 地域行政との連携

歯科受診体制の構築 (歯科衛生士、看護師)

「歯科を勝手に受診しても良いですか？」

「断られるとよく聞くけど、行きたいときは
どうしたら良いのでしょうか？」

という患者の声が多い。



歯科紹介までの流れを構築した。

歯科受診までの流れ

医師

患者さんに歯科衛生士が口腔内の状態をチェックすることを説明。



看護師

チェックシートを使用して、歯科診療に関する質問を行う。
回答の内容によって、歯科衛生士に口腔内チェックを依頼するかどうかを判断し、必要に応じて歯科衛生士に連絡。



歯科衛生士

内科外来で口腔内の状態をチェック。
このとき歯科受診が必要であると判断した場合は、県歯科医師会に歯科医院の紹介を要請。



看護師

県歯科医師会から歯科医院がいくつか紹介されたら、
その中から患者さんが希望する歯科医院はどこかを確認。



医師・歯科衛生士

歯科医院宛てに紹介状を作成。

成果

通院中のHIV患者:43名

歯科受診について状況把握できた患者:36名

歯科定期受診あり:15名

HIV感染について歯科医に告げているか

告げている : 7名

告げていない: 8名

歯科定期受診なし:21名

歯科衛生士による口腔内観察を行った患者:15名

そのうち歯科紹介した患者: 7名

本日の内容

1. 当院の診療状況
2. 歯科受診の奨励
3. 性感染症(STI)重複感染防止
4. 保険薬局との薬・薬連携
5. 他施設への出前講座
6. 市民への啓発
7. 地域行政との連携

併存 性感染症の定期的確認(薬剤師)

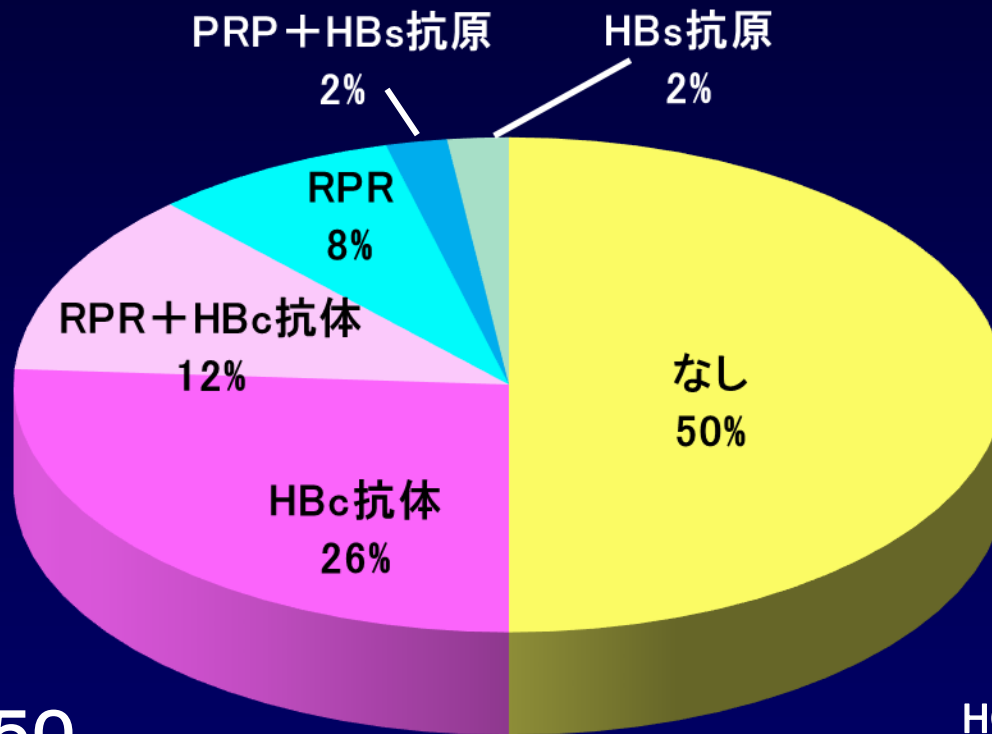
6ヵ月毎に性感染症(HBsAg、HBcAb、HCV、RPR)を検査することで、新たなHBV、HCV、梅毒感染の有無を知り、STI早期治療の開始とARTレジメンの適正確認を行っている。

	B	C	D	E	F	G	H	I
	氏名	フリガナ	抗HIV薬	HBsAg	RPR	その他	更新日	
1			トリーメク配合錠	(-) 2014/12/1	(-) 2015/1/5	2016/7/7に検査オーダーあり	2016/4/23	
2			トリーメク配合錠	(-) 2016/5/25	(-) 2016/5/25	半年間空いていないのでこのままで(次回オーダーなし)	2016/5/26	
3			トリーメク配合錠	(-)2016/5/11	(+)2016/5/11	半年間空いていないのでこのままで(次回オーダーなし)	2016/5/12	HBsAb・HBcAb(+)
4			トリーメク配合錠	(-) 2016/5/11	(-) 2016/5/11	半年間空いていないのでこのままで(次回オーダーなし)	2016/5/11	
5			トリーメク配合錠	(-) 2016/4/28	(-) 2016/4/28	半年間空いていないのでこのままで(次回HBcAbオーダーあり)	2016/5/26	
6			アイセントレス錠800mg エブジコム配合錠	(-)2016/4/6	(-)2016/4/6	半年間空いていないのでこのままで(次回オーダーなし)	2016/5/11	
7			エブジコム配合錠 デビケイ配合錠	(-) 2016/5/18	(-) 2016/5/18		2016/5/18	
8			デビケイ錠50mg エブジコム配合錠	(-) 2016/3/16	(-) 2016/3/16		2016/5/18	
9			デビケイ錠50mg エブジコム配合錠	(-)2016/3/10	(-)2016/3/10		2016/4/23	
10			デビケイ錠50mg エブジコム配合錠	(-)2016/5/18	(-)2016/5/18		2016/5/18	
11			プリジスタナイーブ錠800mg ノービア100mg エブジコム配合錠	(-)2016/5/18	(-)2016/5/18		2016/5/18	
12			プリジスタナイーブ錠800mg ノービア錠100mg エブジコム配合錠	(-)2010/7/9	測定なし	2016/6/13に検査オーダーあり	2016/4/23	
13			アイセントレス錠400mg ツルバダ配合錠	(-)2016/4/25	(+)2016/4/25	次回の来院日(2015/7/21)にHBV-PCRの測定あり HBsAgは半年間空いていないので測定不要	2016/4/25	HBsAg 陰性化
14			アイセントレス錠400mg ツルバダ配合錠	HBV-PCR 毎回測定 (2016.3.17検出せず)	(-)2016/3/17	HBV-PCR毎回測定	2016/5/26	
15			アイセントレス錠400mg ツルバダ配合錠	(-)2010/5/21	(-)2010/5/21	次回 2016/8/1 に検査オーダーあり	2016/5/2	

各検査項目の測定結果、
測定日時を記録した
患者一覧を作成して把握
(バックボーン、
キードラッグ毎に色分け)

HIVとの重複感染症

(血液製剤感染 3例 を除く)



N=50

HCVとの重複感染例 0件

初診以降の新たな感染例 0件

本日の内容

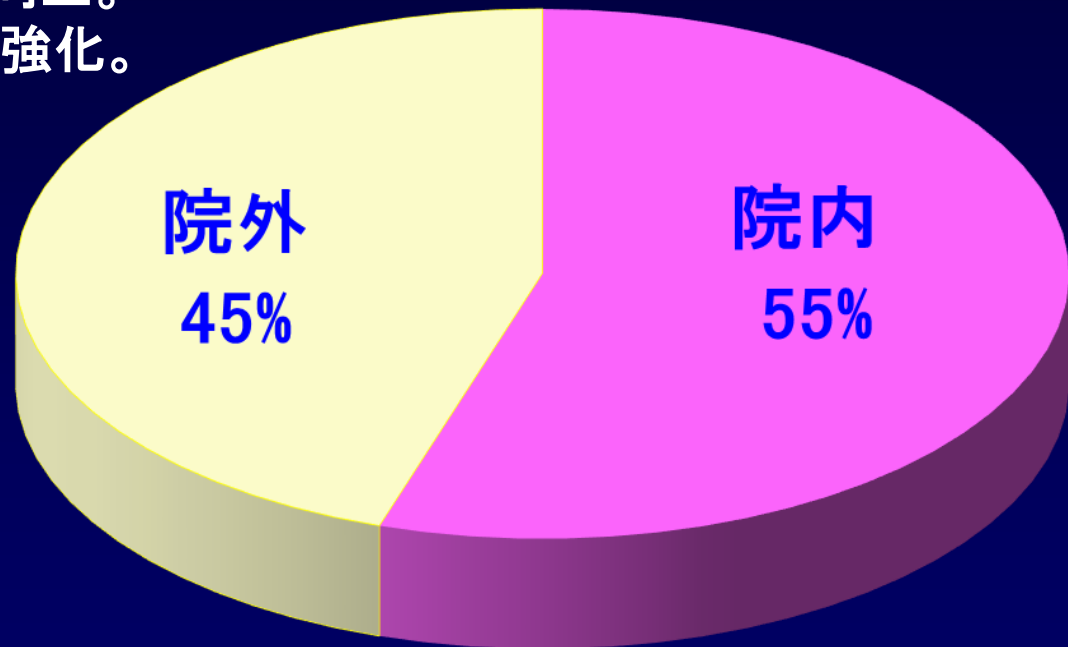
1. 当院の診療状況
2. 歯科受診への奨励
3. 性感染症(STI)重複感染防止
4. 保険薬局との薬・薬連携
5. 他施設への出前講座
6. 市民への啓発
7. 地域行政との連携

院外処方^(薬剤師)の推進

治療患者の院内・外処方の割合

院外処方の目的と利点

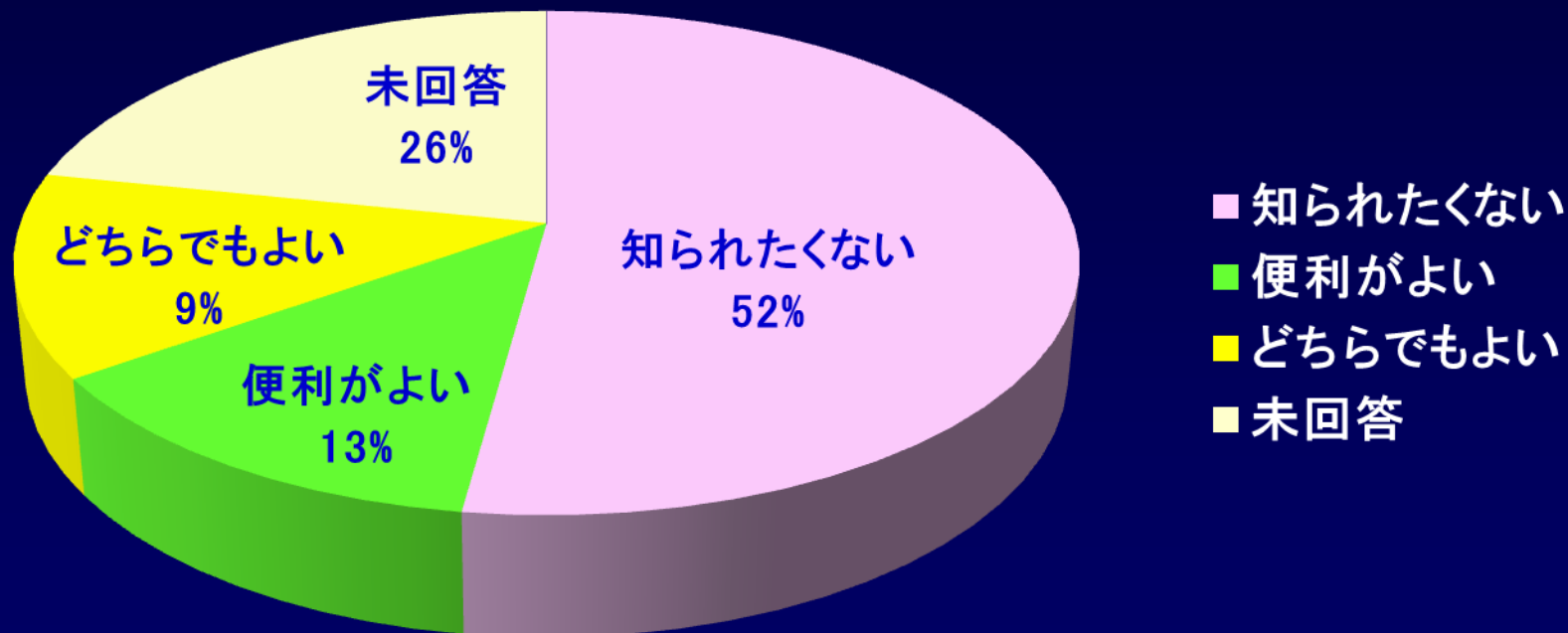
- HIV感染者の利便性の向上。
- 地域薬剤師会との連携強化。
- 病院薬剤費の軽減。
- 処方箋料の加算。
- 不良在庫の解消。



N=40 (未治療3件)

院内処方希望する理由

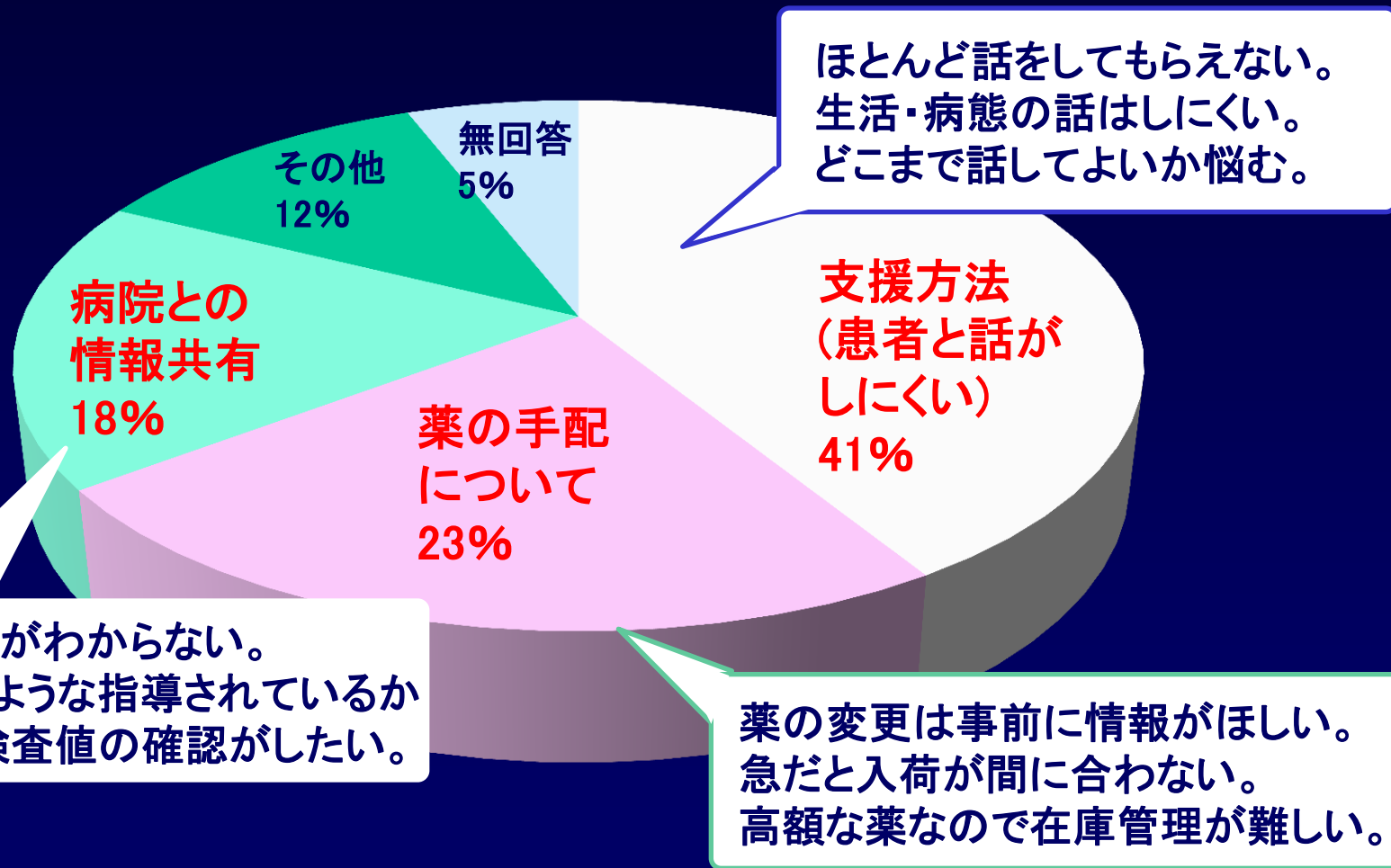
売上高



N=22

院外保険薬局へのアンケート調査

困った点や問題点、当院薬剤師に希望すること。



情報交換シートを用いた薬・薬連携

保険薬局と当院薬剤師間で定期的な情報交換を行っている。

情報提供シート

平成 年 月 日

氏名:

★現在服用している薬

例 ツルバダ配合錠 1錠 夕食後

例 テビケイ錠 1錠 夕食後

例 ジャヌビア錠50mg 1錠 朝食後

★サプリメント・OTC

例 亜鉛のサプリメント、総合ビタミン剤

★検査値 (年 月 日)

AST

ALT

Cre

eGFR

T-cho

LDL-cho

・

・

・

保険薬局が聴取した内容や問題点を記入してもらいフィードバック

- ☆お薬手帳の使用 あり/なし
- ☆食事は規則的にとれている はい/いいえ
- ☆服薬忘れは月にどのくらいありますか
月 回ほど/服薬忘れはない
- ☆現在パートナーがいる はい/いいえ
- ☆身体の関係を持つことは多い はい/いいえ
- ☆お薬を使用する上で困りの点

- ☆その他薬剤師に聞いてみたいこと、相談、希望することなどご自由にお書きください
↓フリースペース

病院薬剤師があらかじめ検査値等を記入して情報を提供

本日の内容

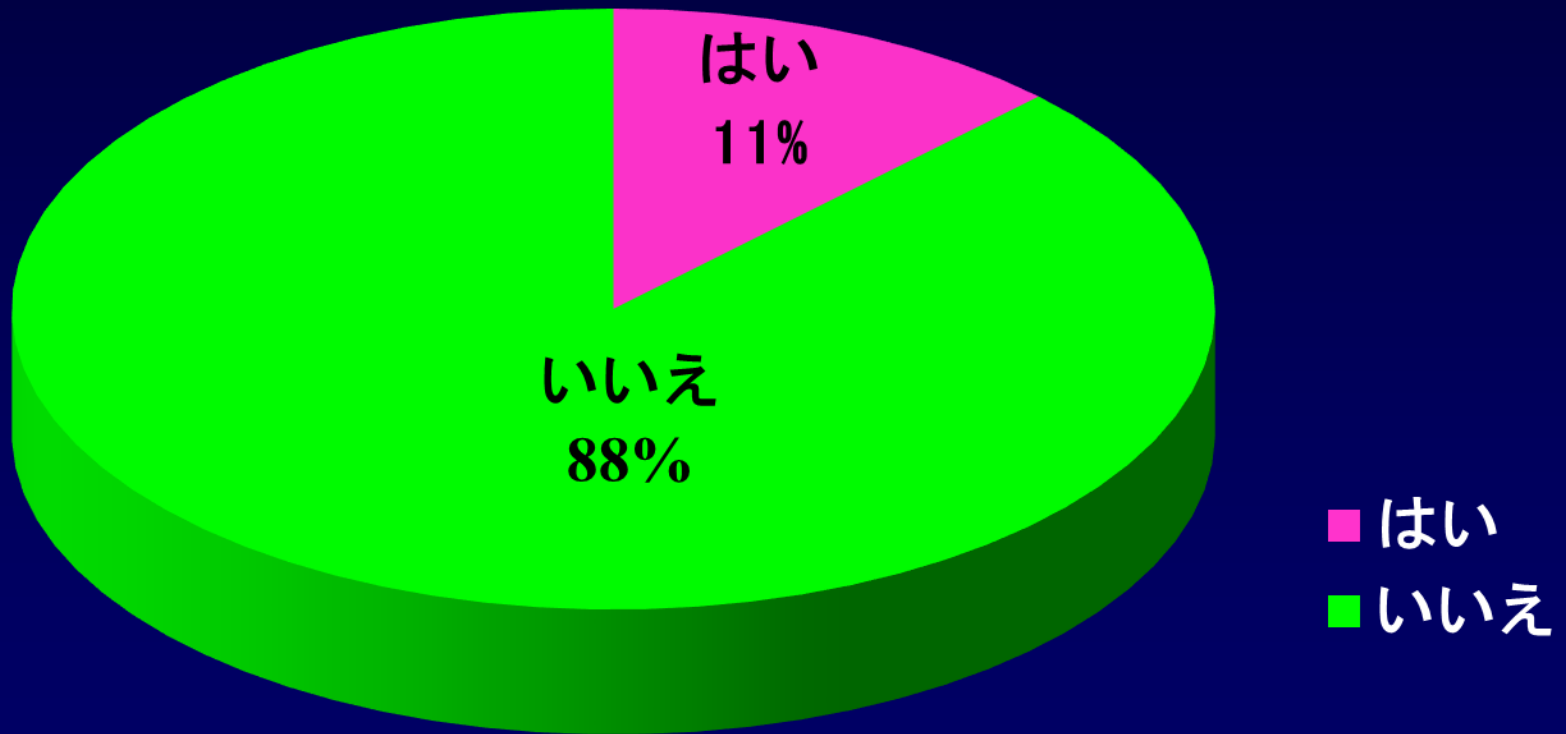
1. 当院の診療状況
2. 歯科受診への奨励
3. 性感染症(STI)重複感染防止
4. 保険薬局との薬・薬連携
5. 他施設への出前講座
6. 市民への啓発
7. 地域行政との連携

高齢化対応

予測されるCKD増加に向けて、
透析治療支援ネットワークを構築する目的で
アンケート調査
(MSW)

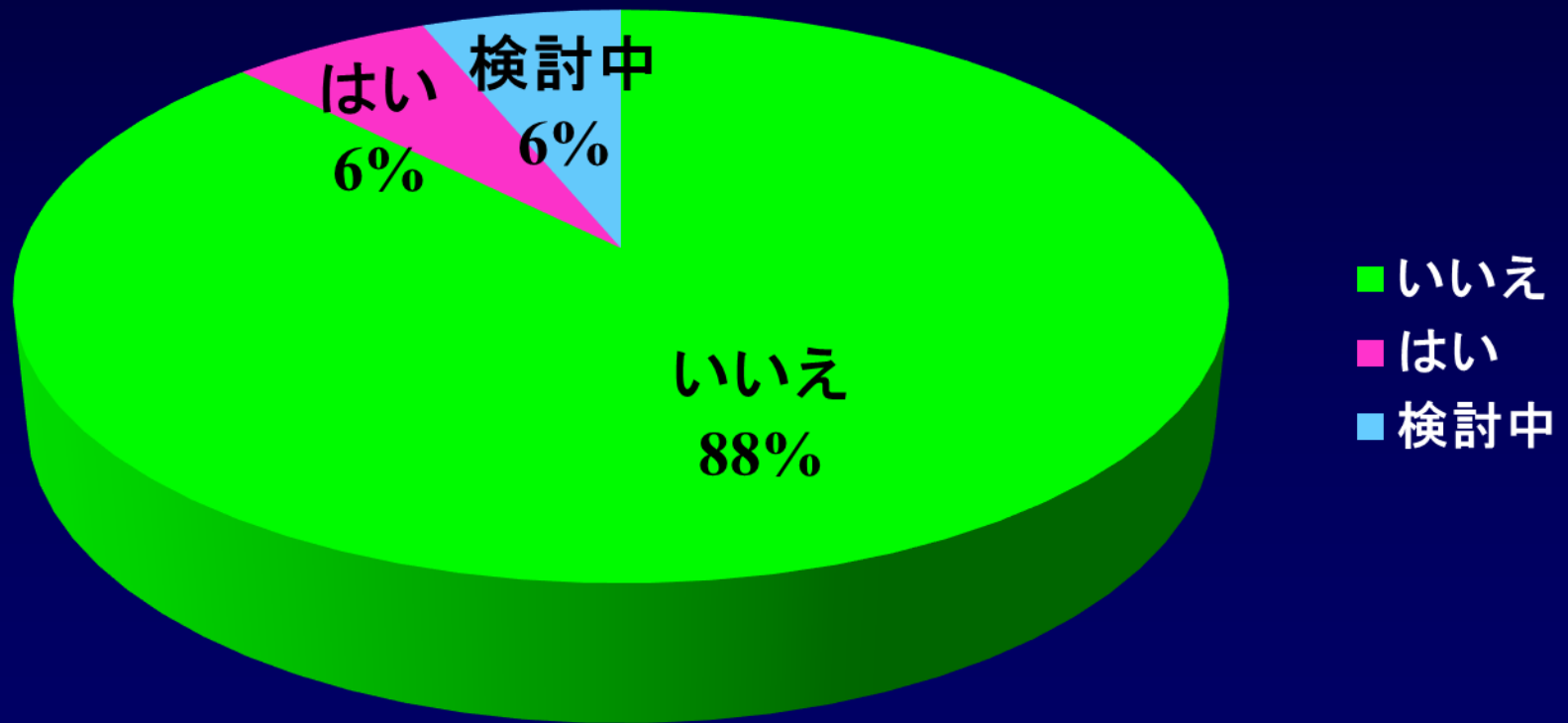
- ・ 透析施設20医療機関にアンケートを行い、
16医療機関から回答を得た。
- ・ 回答した職種の約9割が医師、看護師。

現在、貴院ではHIV陽性者を 受け入れていますか？



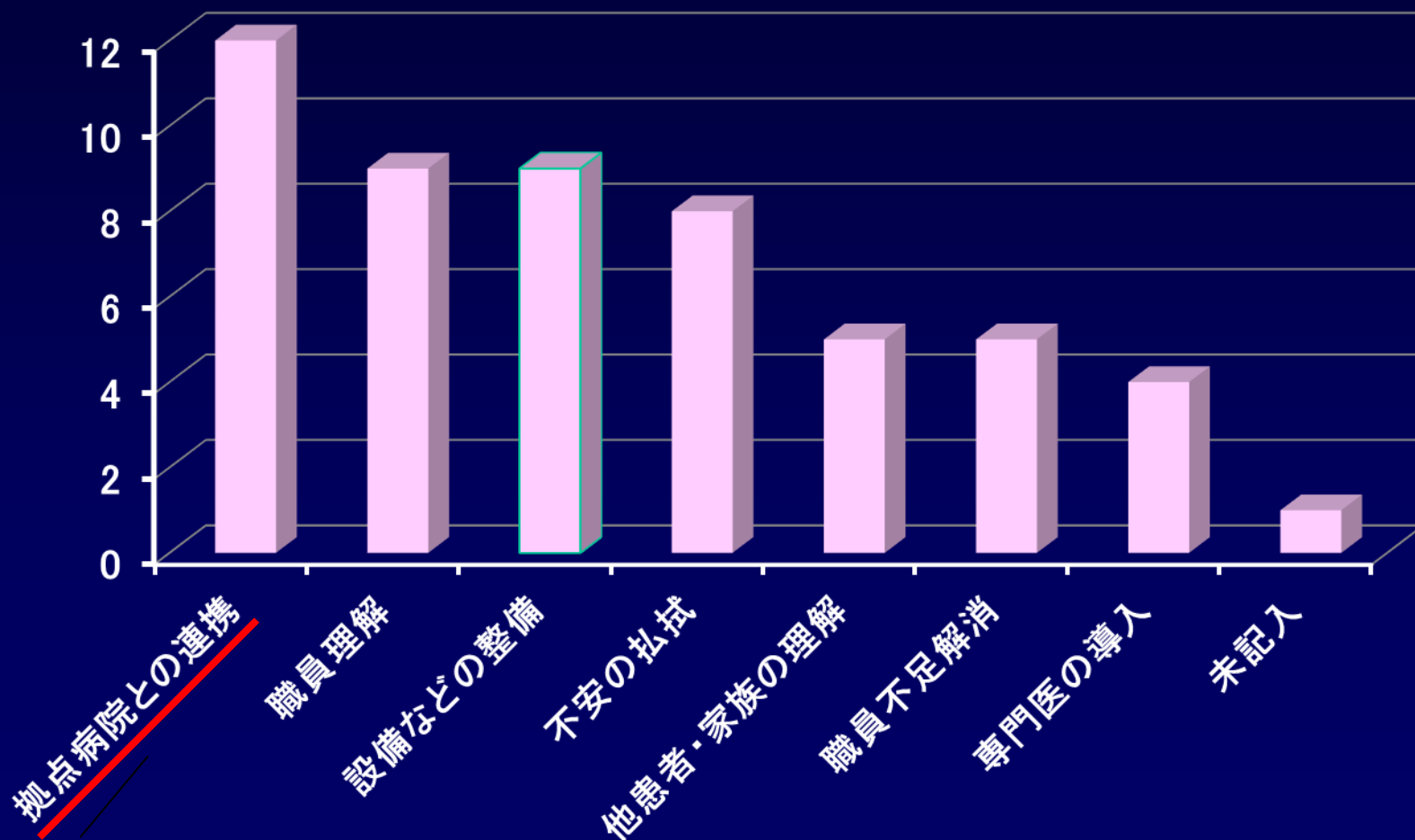
N=16

現在受け入れてない場合 今後HIV/AIDSに関する勉強会・研修会 の開催を考えていますか？



N=16






受け入れ意思のない医療機関へ 今後どのようなことが改善されると 貴院において患者受け入れが可能となりますか？



福山医療センター HIV/AIDS医療チーム 出前研修

当院は、1994年にエイズ治療拠点病院に指定されています。エイズ治療拠点病院として、様々なHIV感染症及びAIDSに対応可能な総合的で高度な医療を提供することが求められており、治療・診療内容は日進月歩で進んでいることから情報収集を行うと共に、地域医療機関への情報提供や啓発などの役割も担っています。そこで、下記のごとく、研修プログラム整えましたので、ぜひご活用頂きたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

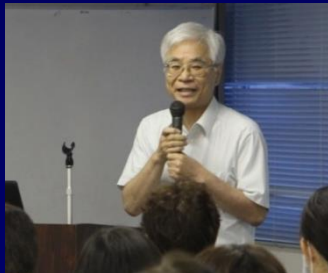
研修プログラム

-  医師 HIV感染症について
-  看護師 日常生活で気をつけること
 - ・感染予防について
 - ・感染経路について
-  薬剤師 HIVについて～抗HIV薬を全般に～
 - ・薬の特徴、副作用、暴露について など
-  臨床心理士 HIV陽性者の心理
 - ・セクシュアリティ
 - ・陽性者の話を傾聴すること
-  MSW 治療に必要な社会保障制度
 - ・高額療養費について
 - ・身体障害者手帳について
 - ・自立支援医療(更生医療)について など

《研修についてのお問い合わせ》
福山医療センター 地域医療連携室
TEL (084)922-0230(直通)
FAX (084)922-2411(直通)

当院初の出前講座(T病院)

平成28年10月7日



本日の内容

1. 当院の診療状況
2. 歯科受診への奨励
3. 性感染症(STI)重複感染防止
4. 保険薬局との薬・薬連携
5. 他施設への出前講座
6. 市民への啓発
7. 地域行政との連携

市民公開講座開催

福山医療センターエイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会

～チーム医療と地域で支える
エイズ診療をめざして～



開会挨拶

「エイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会」は、第一、皆様をお集りし上げます。本日は、福山医療センターエイズ治療拠点病院として20周年を迎え、記念講演会がこのような形で開催される機会を捉えたいと思っております。本日は、平成27年3月22日に「エイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会」を開催し、「エイズ治療拠点病院診療20周年」を記念し、エイズ治療の現状と今後の展望について、講演者をお招きし、ご講演を賜います。エイズ治療の現状と今後の展望について、講演者をお招きし、ご講演を賜います。

エイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会によせて

田中 知徹



本日は、エイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会を開催し、ご講演を賜います。エイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会を開催し、ご講演を賜います。

20周年記念に 寄せて

平林 光司



皆さん、こんにちは。この講演会にたいして、お集りいただき、ありがとうございます。エイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会を開催し、ご講演を賜います。

また、エイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会を開催し、ご講演を賜います。エイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会を開催し、ご講演を賜います。

福山医療センター
市民公開講座 2015

エイズ治療拠点病院診療20周年記念講演会

～チーム医療と地域で支えるエイズ診療をめざして～



■と き

平成27年
3月22日(日)

受付 13:30～(4階大会議室前)
講演 14:00～16:30

■と ころ

まなびの館ローズコム
(4階大会議室)
福山市高町1丁目10-1
(中央図書館隣 福山生建学舎プラザ)



※お申し込みは、お申し込みください。
※お申し込みは、お申し込みください。

■定 員

100名

入場無料

■主 催

国立病院機構 福山医療センター

■後 援

広島県 福山市医師会
福山市 尾道市医師会
尾道市 尾道工芸工業会

【プログラム】

総合司会
齋藤 誠司 (広島大学医学部附属病院 日本エイズ学会理事)
坂田 達朗 (福山医療センター 院長)

講演 14:00～
若田 博巳 (徳島大学医学部 教授)
菅松 謙也 (広島県立総合医療センター 院長)
田中 知徹 (福山医療センター 院長)

20周年記念に寄せて 14:15～
平林 光司 (福山医療センター 名誉院長)

講演 ① 14:20～
「広島県におけるエイズ診療の歴史」
高田 晃 (広島大学医学部附属病院 日本エイズ学会理事)

講演 ② 14:30～
「岡山県におけるエイズ教育の意義と今後の展望」
和田 秀穂 (岡山県立中央病院 院長 日本エイズ学会理事)

講演 ③ 15:20～
「福山医療センターにおけるエイズ診療を振り返って」
池田 政憲 (福山医療センター 院長 日本エイズ学会理事)
坂田 達朗 (福山医療センター 院長 日本エイズ学会理事)

講演 ④ 15:40～
「HIV検査の新たな展開」
中野 逸博 (岡山県立中央病院 院長 日本エイズ学会理事)

パネルディスカッション 16:00～
「みんなで終わろう。みんなで支えよう」
～HIV感染、患者さんが地域で安心して暮らせるように～
司会: 和田 秀穂

パネルディスカッション 16:30～
齋藤 誠司 (広島大学医学部附属病院 日本エイズ学会理事)
小川 良子 (広島大学医学部附属病院 日本エイズ学会理事)
飯井 浩子 (広島大学医学部附属病院 日本エイズ学会理事)
飯島 鏡子 (福山医療センター 院長 日本エイズ学会理事)
木梨 貴博 (福山医療センター 院長 日本エイズ学会理事)

講演 16:30～
坂田 達朗

事前参加の申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

福山医療センター
National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

〒730-8590 広島県福山市高町4丁目14-17
Tel: (084) 922-0000 (内線) FAX: (084) 931-3909
http://www.fukuyama-hosp.ro.jp/

本日の内容

1. 当院の診療状況
2. 歯科受診への奨励
3. 性感染症(STI)重複感染防止
4. 保険薬局との薬・薬連携
5. 他施設への出前講座
6. 市民への啓発
7. 地域行政との連携

福山地区エイズ連絡会の開催

平成24年から
広島県東部保健所、
福山市保健所と
当院とで年2回会合し、
各施設における
HIV/AIDSへの取り組み
を報告しあい、
現状の問題点を明らか
にして、
今後の啓発活動や診療
に役立てている。

事務連絡
平成28年12月19日

福山医療センター長 様
福山市保健所長 様
(保健予防課)

広島県東部保健所長
〒720-8511 福山市三吉町1-1-1
保健課

第2回福山地区エイズ連絡会の開催について

保健対策事業の推進につきましては、日ごろから格別の御理解、御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、今年度、第2回の福山地区エイズ連絡会を次のとおり開催しますので、関係者の出席について御配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。

- 1 日 時 平成29年2月22日(水) 17:00~18:00
- 2 場 所 福山医療センター 中央カンファレンスルーム
- 3 議 題
 1. 福山医療センターにおける取り組みについて
 2. 各保健所における取り組みについて
 3. その他

担当 保健対策係
電話 084-921-1311(内線2412)
(担当者 木曾)



ご清聴ありがとうございました。

福山医療センター HIV医療チーム